日旅連12支部連合会、21年度の事業計画

新潟支部連合会

選ばれるエリア目指す

白崎純也会長

平素は、新潟支部連合会の事業活動に対し、日本旅行グループ並びに会員各位より多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年度より当連合会の会長を仰せつかることになりました白崎純也と申します。前浅野謙一会長からバトンを頂き身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願い致します。

さて昨年は全国同様、新型コロナウイルスに振り回された1年でありました。緊急事態宣言も発出され、やむを得ないとはいうものの、春の壊滅的な需要減にはただ驚くばかりでお客さまのいないGWは初めての経験でした。幸い新潟県も山形県も近接需要喚起から6月あたりから県民宿泊割引の施策で少しずつ息を吹き返し、7月下旬からのGo To、そして秋の需要拡大につながったのは、私たちにとって救われた思いでもありました。しかし12月に入り感染拡大によるGo To停止とともに需要が急減し、年明けには再度の緊急事態宣言の発出とまさにジェットコースターに乗るような1年だったと思います。

そうした中で本年度の当連合会の取り組みとしては、販売担当者の皆さまに感染拡大が一定落ち着いた段階で、昨年度も掲げさせていただいた「選ばれる新潟・庄内エリア」を再度標榜して今年度の誘客を進めてまいりたいと思います。

昨年Go Toで需要回帰をしたのは、個人のお客さまがほとんどで残念ながらグループは非常に限られたものとなりました。ウイルスが相手のため終息の状況にならない限り、元通りの団体旅行が厳しいことは承知しているものの、いろいろな声を聞くと潜在的なマーケットニーズは間違いなく存在していることから、感染に十分配慮しながらそのような需要創出を日本旅行様と模索してまいりたいと思います。

現状は、域内や近接エリアのお客さまを誘客しながら段階的に首都圏や中部・関西圏とならざるを得ないと思いますが、需要促進につながるよう行政にも日本旅行様や業界として働き掛けていければと考えています。もちろんそれに合わせて私たち各施設でも選ばれる工夫も必要かと考えております。そのような取り組みを各会員の皆さまと進めていきたいと思います。

本年も関係各位一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、昨年度まで当連合会の会長として16年間、さらに本部の営業推進委員を含めると30年以上にわたり、当連合会だけでなく日旅連本部の中心メンバーとして新潟・庄内エリアの地域貢献も含めてご活躍いただきました浅野前会長大変お疲れさまでした。皆さまにもお伝えしたく感謝の文面とさせていただきます。

関東支部連合会

地域の魅力さらに磨く

山本剛史会長

平素は関東支部連合会の事業活動に対して日本旅行グループ並びに会員の皆さまからのご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。本年度から連合会長を務めさせていただきます、群馬県草津温泉「毬びの宿　高松」の山本です。

昨年は新型コロナにより当連合会会員施設は多大な影響を受けました。Go Toキャンペーン実施期間中は地域により大きく集客を改善しましたが、首都圏地区（東京、横浜）施設は期間中も含めてかなり苦戦を強いられました。連合会活動に関しては、2月のワークショップは開催したものの、それ以降の活動はほとんどできませんでした。

そのような昨年の状況の中、11支部中3支部が新型コロナ対策を十分にした上「日本旅行社員現地研修」を支部活動として実施しました。また、新型コロナ対策商品として「春一番キャンペーン」や「ダブルチャンスキャンペーン」など日本旅行グループ各部署にご協力いただきました。日本旅行関係各位のご協力に感謝申し上げます。

さて、本年度のスタートは関東都県の緊急事態宣言発令もあり、今後の見通しは不透明と言わざるを得ません。特に団体とインバウンドはマーケットが縮小、消滅し、それを主力としている会員施設への影響は多大と予想されます。

とはいえ、新型コロナの状況を見定めた上で連合会事業は粛々と進めてまいります。

昨年からの継続重点強化として、法人部門では、大都市部の法人営業担当者との商談会を複数回開催し、MICE&地方創生団体顧客向けに企画の提案を行います。

個人部門では、「日本旅行Web販売強化」に対応できるよう「My宿オンライン」への取り組み参画を継続強化します。

またエリア特性に基づいた活動を支部ごとに立案、実施します。「社員現地研修」「地域キャラバン」「支部別商談会」の3本柱を本年も強化してまいります。

最後になりますが、関東支部連合会の事業活動に対し、皆さまより多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

長野支部連合会

GoTo再開、長期延長

西山平四郎会長

日頃より長野支部連合会の事業活動に当たり、多大なるご支援を頂いております日本旅行グループ並びに会員の皆さまに心から感謝申し上げます。本年度より長野支部連合会の会長に就任致しました「歴史の宿金眞屋」の西山平四郎と申します。前会長の明神館の齊藤氏には及ぶすべもありませんが、持てる力の限り頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

この1年は新型コロナに始まり、全てを新型コロナに飲み込まれるという状態です。この問題を抜きにして、連合会の活動を語ることはできないと思います。

具体的に言えば「政治、行政」との絡みです。旅行会社との団体だから政治、行政の問題には踏み込まない、各業界団体に任せておけばいいと思うのであれば、今の時代における連合会の存在価値は大きく低下すると思います。

長野県の例を話します。昨年の6月、長野県は県内のホテル旅館、旅行業者救済のため「県民割」という企画を行いました。1人1万円以上の宿泊については、5千円を補助するという一部マスコミ等にあることないことを言われる中、Go Toトラベルを推進し、間違いなく、大企業のない地方の経済は、息をつくことができました。

この状態を続けることができなかったことが、この業界（観光業界）の弱さだと思います。業界の利益になる政策を行ってくれるところに支持の表明をすることなく、細菌学者の「エビデンス」のない主張に反論することなく、Go Toトラベルを推進している方々を「孤立無援」にし、「停止」という最悪の決定をさせてしまいました。

日旅連だけでなく、ホテル旅館、バス、航空、旅行会社など、全ての観光関連の団体が、真実（統計学上）をもっておのおの反論すれば、違った正月になったと思います。残念でなりません。

「Go Toトラベルの再開、長期の延長」を、今年度の最大の事業目標とすべきと思います。

中部支部連合会

三位一体で需要を拡大

金原貴会長

日旅連中部支部連合会の事業活動に対し、皆さま方より多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は「コロナに始まりコロナに終わる」という、国内も海外も問わず世界中を巻き込んだ未曽有の1年になり、東京オリンピック・パラリンピックまでも延期され、政府の支援策として期待された「Go Toキャンペーン」や各地方自治体などが主導した「県民割」等の施策と並行し、われわれ、中部支部連合会としても「旅連スペシャル商品」を緊急発売し、テコ入れ策を実施してまいりました。

一時的に旅行需要は喚起されたりしたものの、コロナの状況の悪化により中止を余儀なくされ、結果的に過去に経験したことのない厳しい1年となりました。

本年は、ますます日旅連施設、域内支店、営業本部（赤い風船、仕入）と三位一体となって、地域ならではの魅力的な素材の発掘と市場のニーズに合った商品提供を発信して域内の需要拡大を目指してまいります。

中部地区においては、9月「三重とこわか国体」、10月「ねんりんピック岐阜2021」などの全国的なイベントの開催や三重県多気町において2021年春に敷地面積が115㌶もある、食と健康をテーマにした大型複合施設「VISON（ヴィソン）」のオープンが予定されており、需要喚起をされることが期待されております。また教育旅行においても新しい着地としての魅力も見直されてきており、域内はもとより近隣各県への対応も取り組んでいきます。

そして2022年秋には愛知の愛・地球博記念公園内に「ジブリパーク」のオープンにより、「トトロ」や「千と千尋」の世界も再現されるという明るい話題も予定されております。

最後になりますが、一刻も早くコロナの終息を迎え失われた1年を取り返せる年となりさらなる発展を目指してまいります。

本年も、引き続き皆さま方のさらなるご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

北陸支部連合会

地元、全国へ販売を強化

吉田眞啓会長

日頃より北陸支部連合会の事業活動に多大なるご支援とご協力をいただいております日本旅行グループの皆さま、そして会員の皆さまに心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言の発出により、上期は大半の施設が今まで経験をしたことがない長期休業を強いられました。しかし、夏ごろより富山、石川、福井の3県による独自の県民宿泊割制度が始まり、その後Go Toトラベルキャンペーンが展開されたこともあり、日本旅行グループ様には北陸3県の宿泊券販売において下期は前年を上回る実績を残していただきました。コロナ禍の状況下にも関わらず多くの販売をいただきました日本旅行グループの皆さまに改めて心より御礼を申し上げます。

本年はGo Toトラベルキャンペーンの全国停止措置により厳しい状況から始まっておりますが、昨年同様にまずはマイクロツーリズムへの取り組みによる地元における販売強化、そして感染が落ち着いた段階では全国からの誘客に取り組み、引き続き少しでも多く販売を伸ばすことができるような施策を行ってまいります。

首都圏や関西圏からの団体臨時列車の誘致、サイトコントローラー連動施設と登録プランの増強、依然として根強い人気を誇るカニなど美食商品の販売、主に修学旅行をターゲットとしたSDGs素材の開発など従来からの取り組みに加え、ニューノーマルの時代に即した安全、安心に配慮したおもてなしやプラン展開などなすべきことは非常にたくさんありますが、しっかりと成果を残せるように営業推進委員会を中心に活動してまいります。営業推進委員会では、既に2月にオンラインによる北陸3県の日本旅行社員の皆さまとの商談会を実施するなどDXへの取り組みも始めております。

会員であることに魅力を感じていただけるような北陸支部連合会を目指し1年間活動してまいります。

本年もさらなるご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

山梨県いさわ温泉 華やぎの章 慶山
山梨県石和温泉郷のリゾート旅館 華やぎの章 慶山
〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 822
TEL：055-262-2161　FAX：055-262-4162
山梨県石和温泉 華やぎの章 甲斐路
山梨県石和温泉　慶山グループ 華やぎの章 甲斐路
〒 406-0024　山梨県笛吹市石和町川中島 1607-40
TEL 055-262-7373　FAX 055-263-5677

北陸新幹線
黒部宇奈月温泉駅から
車で10分
金太郎温泉
〒937-0013
富山県魚津市天神野新 6000 番地
TEL.0765-24-1220

世界遺産
「明治日本の産業革命遺産」

萩城下町

松下村塾

恵美須ヶ鼻造船所跡

萩反射炉
世界遺産「萩城下町」の宿
萩城三の丸 北門屋敷
〒758－0057 山口県萩市掘内 210-12
TEL0838－22－7521　FAX0838－25－8144
http://www.hokumon.co.jp
毛利三六万石の城下町、長州・萩。
萩城からほど近い、かつて城を守る
重臣たちが居を構えた萩城三の丸、
毛利屋敷跡に、北門屋敷はあります。
江戸時代からほとんど変わらない町割りと、
維新前夜の面影が色濃く残る場所。
武家屋敷の風格と凛とした空気に、
往時の息づかいが感じられます。
国の重要伝統的建造物群保存地区、
そして世界遺産「萩城下町・旧上級武家地」
であるこの場所に許された、唯一の旅館。
ようこそ北門屋敷へ。

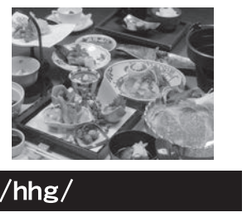
当館表門前にも石碑がございます。

光輝く令和の時代へ　今年もよろしくお願い致します。

日光東照宮に一番近い宿
ホテル清晃苑
TEL:0288-53-5555FAX:0288-53-5554

旬の懐石と1ランク上のおもてなし
日光千姫物語
TEL:0288-54-1010/FAX:0288-54-0557

仙台伊達公別邸跡の宿
日光東観荘
TEL:0288-54-0611/FAX:0288-53-3914

懐かしき大正ロマンの宿
ホテル春茂登
TEL:0288-54-1133/FAX:0288-53-3509

春茂登ホテルグループ　http://www.hotel-harumoto.com/hhg/